

はやいもので、2016年度も半分が終わりました。今回のYummy³では上半期の活動を振り返り、ダイジェスト版でお届けします。少しでも半年間の歩みが伝われば嬉しい限りです。

組合員活動報告

●年末年始試食会

◆生駒北コミュニティセンターはばたき
11月4日(金曜日)

主に奈良市、生駒市の組合員を中心に24名(未組合員7名)の参加。調理・盛り付け・飾りつけのデモを見る、調理する、丹精國鶏の説明を聞く、試食する、の4要素がバランスよく構成された試食会となりました。

◆平群 ワイツ多目的ホール
11月7日(月曜日)

三郷町の新規組合員を対象に24名(未組合員6名)の参加。調理はありませんでしたが、消費材の良さをよりわかって頂けたのではないかと思います。
(消費委員会)

●伊賀有機感謝祭

12月3日(土曜日)三重県伊賀市白檜

参加は大人32名子供28名。お天気にも恵まれ、里山の初冬を満喫。なかでも、「鶏の解体」は、なかなか体験できない命の学習ということで昨年に引き続き大好評でした。また、大きな木のブランコは子どもたちの一番人気に！毎年趣向を凝らした内容に感謝です。
(理事会)



●バナナ・カフェ委員会

10月度定例理事会にて活動メンバーが3名になったことを受け、①毎月の委員会開催、②バナナ登録への数値目標を設定して活動していくことをもって、「委員会」とすることが承認されました。

●農と食育準備委員会

<http://seikatsunouen.blog.fc2.com>

◆農園通信Vol1発行

◆9月22日(木・祝)前期総会開催

◆新着-農園で育った3年ものの蒟蒻芋を使ってコンニャクを作りました。作り立ての農園コンニャク、マヨネーズで食べても美味しかったです。
(農と食育準備委員会/農園サークル)



●仲間づくり・チラシのポスティング

多くの組合員のみなさまのご協力に感謝いたします!

●消費委員会

◆生産者に会ってみよう!美勢商事交流会
7月5日(火曜日) 上牧町2000年会館



新規組合員を中心に19名(未組合員6名、子ども3名)の参加。安い餃子のカラクリに驚きました。焼き方次第で美味しくも残念にもなることを目の当たりにし、たくさんの学び・気づきがあった交流会となりました。

◆添加物学習会(ソーセージ作り)
7月29日(金曜日) 大和郡山市総合公園内調理室

親子6組-大人7名、子ども9名の参加。ソーセージ作りを通して市販で使われる添加物について学びました。試食では、ソーセージ以外にも、竜おうみ米や、野菜BOXを使った料理もテーブルに並び、消費材から本物のおいしさを実感しました。

◆おおぜいの自主監査に向けて、ただいま猛勉強中です!

●コミュニティ活動

◆コミュニティにゆ〜すVol1、2が発行されました。

- ◆現在、5つのコミュニティが活動中です。
- * MIKOMAMA 生駒市
- * ぐりーんひるず 生駒市
- * ふしみクラブ 奈良市
- * mommies 広陵町
- * CLUB MISO 広陵町

お楽しみに!!

詳しくは、「コミュニティにゆ〜す」にてお知らせいたします。
(地域づくり委員会)

●おうちdeカフェ

おうちdeカフェを開催して下さった組合員さんからの投稿です!

7カ月の男の子のいる友人を招き、カスタードエクレア・ひねり揚げを頂きました。生活クラブのパンフレットや食品添加物の冊子などを見ながら、おすすめの消費材の話をしたりと、おうちdeカフェ・Timeを満喫。友人も「美味しかった」とのことでした。
(生駒地区・組合員)



●ハケタ会 ふじ目合わせ

10月29・30日 長野県長野市

2016年度、リンゴは
大変でした。

今年の作柄からハケタ会全体として、ふじの収穫予想量は約2割減。生活クラブの約束量確保がギリギリの状態とのことでした。さらに、正常果の割合が非常に少ないという状況の中、クリームを出さないように出荷したいという願いが、ひしひしと伝わる目合わせとなりました。
(理事会)

連合からの学び

●ビジョンフード産地推進会議 連合消費委員会視察報告

◆チキン食品(株):工場を見学させて頂きました。はりまは首皮を残し、チャンキーは首皮を切るという、それぞれで加工方法の工夫がなされ、各工程に沢山の人の目と手が必要なことを改めて確認いたしました。暑い中、黙々と作業にいそしんでおられ、感謝の念です。

◆秋川牧園南園農場:鶏舎にまだ小さいはりまが走り回っていたのが印象的でした。十分発酵させた敷料を夏は薄め、冬は厚めにしたり、換気や水、えさのラインを清潔に保つなど様々な工夫で無投薬飼育に挑戦されていました。

◆みらい飼料(株)門司工場:2015年12月に起きたGMとうもろこし混入についての経緯と今後の再発防止対策について丁寧な説明を受け、内容は納得できるものでした。また生活クラブの姿勢がどれだけ貴重であるかも再認識いたしました。

◆(株)秋川牧園:ミートセンター、冷凍食品工場の視察となりました。ここでも沢山の人の目と手ではりまが丁寧に加工され、鶏肉に対する愛情が感じられました。工場見学後の協議では、改めて、食べ続けていくことの意義と難しさを感じました。

◆日本果実工業(株)菽工場:みかんなどそのシーズンにしか取れない果物を丁寧にジュースにして大きなタンクに充填し、タンクを丸ごと1~5℃で冷蔵保存していることに驚きました。みかんの皮むき器などの製造ラインは実に興味深いものがありました。

今回、貴重な体験をさせて頂き大変感謝いたします。
(理事・岡田)



●2016年 組員拡大活動交流会

12月17日(土曜日)東京・オルタナティブ生活館

◆連合事業第6次中期計画の基本戦略

- ①組員拡大力の強化
- ②共同購入における世代、生活場面における対策強化
- ③広報・情報政策の充実
- ④コスト構造の明確化
- ⑤生活クラブの社会的ポジションの明確化

特に①組員拡大力の強化を強調されており、生活クラブならではの個配を展開し8~10万人の組員純増を目指す方針。

各単協の拡大成功事例は、大変勉強になりました。とにかく、中心になっている組員が楽しく活動している、その姿にまたひとが集まり、さらに楽しくなる、楽しさが伝染する、そんな活動を奈良でも働きかけていきたいと感じた交流会でした。

(理事・牧村)

日本は?

(参考)

粉ミルクの遺伝子組み換え原材料に関する大手メーカー6社の回答
<http://nongmseed.jp/?p=1543> Tanet(たねつと)より

イベント申し込み

下記を切り取って配送担当へお渡し下さい。

問い合わせ先: TEL 0743-58-5225 (理事会事務局)

きりとり

氏名:()
組員コード:()
連絡先
電話番号:()
(Email:)

参加を希望するイベントに入れて下さい。(複数選択可)

- 02/28(火) どっちを選ぶ?こどものおやつ
03/04(土) 春の青空大試食会
03/20(月祝)たべもの学習会「食卓の裏側ーたべものラボ」
DVD「遺伝子組み換えルーレット」貸し出し希望

●Yummyダイジェスト版●

参加人数: 大人()名、こども()名、3歳以下()名
アレルギー:()

コメント(あれば)~

イベント案内

◎どっちを選ぶ?こどものおやつ

※詳しくは1/31~配布のチラシを参照

日時:平成29年2月28日(木)10:00~12:00

場所:生駒市 北コミュニティセンター ISTAはばたき

講師:CS・まちデザイン代表 近藤恵津子さん

参加費:300円 ※託児あります。

◎春の青空大試食会

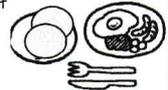
※詳しくは①2/14~②2/21~配布のチラシを参照

日時:2017年3月4日(土) 10:00~12:00

場所:生活クラブ生協本部センター

参加費:大人一人100円、中学生以下は無料

※マイ食器、マイ箸を持ってきてください。



◎たべもの自主学習会

「食卓の裏側ーたべものラボ・たべもの話をしよう」

※詳しくはコチラ↓から

<http://seikatsunouen.blog.fc2.com/blog-entry-101.html>

日時:平成29年3月20日(月・祝)10:00~12:00

場所:斑鳩町中央公民館

主催:農と食育準備委員会(講師は組員となります)

内容:

- ◆たべもの学習会「食卓の裏側ーたべものラボ」
11/23に開催された、農民連・たべもの学習会から、おにぎり実験、清涼飲料水の実験をマネっことして紹介。
- ◆ちよこつとおやつ「昔のおやつ・しきしき焼き」
農園で作った小麦粉を使います。

参加費:

組員 300円、農園サークル 200円、3歳以下無料

DVD貸し出します!

◆遺伝子組み換えルーレット

ー私たちの生命のギャンブル

監督:ジェフリー・M・スミス

(85分、2012年、米国)



▼頂いた感想をご紹介させて頂きます▼

「遺伝子組み換え大豆は使用しておりません」は選べけれども、その歴史や仕組みなど深く考える機会がなかった方に、このDVDをお勧めします。

私には2才になる子どもがいます。日々慌ただしく過ごす中、食事の用意をするたびに「子どもが口に入れるものとして大丈夫?」という心配は尽きません。こちらのDVDをお借りして、遺伝子組み換えについて知ることができました。総じて感想は「自分は遺伝子組み換えに無知すぎたな」ということです。日々の食の心配は続きますが、知る権利と選択する自由がある生活に感謝します。また、この映画が世に出た後に、アメリカの粉ミルクNo.1メーカーが非遺伝子組み換えの原料で提供すると発表しています。消費者の需要で製品を変えることができたという事実に未来への希望を感じました。(南部地区・組員)